

北地区 河地

山形県河北町交流事業

「さくらんぼ狩りツアー」開催

6月25日(日)、友好都市である山形県河北町との交流を深めようと、「さくらんぼ狩りツアー」が道の駅・上品の郷の主催で行われました。

当日は46人が参加し、山形県の名産である真っ赤に熟したさくらんぼを存分に味わったほか、河北町総合交流センター「サハトベの花」では、特産品の紅花の栽培や歴史などを映像で見学しました。各施設を訪れた際には、たくさんの方々の元の方々から大きな歓迎を受けました。山形県河北町とは、旧河北町が同じ町名が取り持つ縁から、スポーツや文化、物産販売を通じて交流を深めており、今年の1月に市と友好都市の締結を行っています。



▲あまくておいしいね



▲田宮町長さんなど多くの方々から歓迎を受けました

今後は市主催の見学ツアーや、各種イベントでの交流物産展の実施が予定されており、様々な分野で活発な交流が期待されています。

雄勝地区

ウニを求めて六千人



▲開会前のウニ販売所の行列

7月2日(日)、シーサイドふれあい広場において、「おがつ産業まつり」東部漁協・海鮮市ウニまつりⅡが開催されました。当日は、あいにくの雨にもかかわらず、早朝5時半から順番を待つ方もいて、開会前から長い蛇の列ができました。

午前9時、実行委員長の開会宣言を合図に、ウニの販売が始まり、列をつくっていた大勢の方々も新鮮なウニを買い求めていました。



▲うわー!! 動いてるー!!



▲雄勝名物!? すずりんとじゃんけん大会

この日は6,000人を超す買い物客が訪れ、雨のため「雄勝法印神楽」や「伊達の黒船太鼓」の演奏などは中止になったものの、雄勝硯・クラフト製品などの物産販売、ウニ販売のほか、抽選会、ウニの試食コーナーや餅の無料配布、獅子舞などを楽しみ、終日大盛況となりました。



このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

南地区
河地区

カーブミラーをきれいに！



広淵地域会議（小野寺文夫会長 会員21人）では、より住やすい地域とするため、さまざまな課題に取り組んでいます。

6月11日（日）、早朝、安全に生活できる道のあるまち、を実現するため、地域会議構成員、東北電力職員、交通安全協会広淵分会員など44人が参加し、広淵地区内にある86カ所全てのカーブミラーを清掃しました。

違反広告物を除去

鹿又地域会議（女川清一 会長 会員28人）では、住んでいて、気持ちのよいきれいな生活環境づくりの一環として今回初めて違反広告物の除去作業を実施しました。

6月25日（日）に実施された除去作業には、みやぎ違反広告物除去サポーターに認定された会員に市長も加わった41人により、曾波神行政区内の市道沿線にある電柱などに張られた消費者金融や風俗関係のチラシ約70枚をきれいにはがしていききました。



生地区
桃地区

ものうふれあい祭への参加を楽しみに
郷土芸能「はねこ塾」110人が受講



「ものうふれあい祭・はねこ踊りパレード」への参加を目的に、7月1日から5回の日程で「郷土体験「はねこ塾」」が中津山第一小学校体育館で開講しました。

これは、郷土愛や郷土の誇りをもてる「はねこ踊り」を推進しようと、河南桃生商工会青年部が行ったものです。桃生地区を中心に市内の小学生以上の方々が約110人が受講しました。

第1回目の練習となるこの日は、手の動きと足の動きを分けての基礎的な練習が中心でした。受講者はパレードへの参加を楽しみしながら、はねこ踊りを上手に踊れるよう真剣な様子で練習を行っていました。

脇谷閘門を通過体験



北上川の大自然を舞台に活動を行う「水と緑の環境フォーラム・ものう（会長・白石定利さん）」は7月8日（土）、北上川を船で遊覧する「北上川クルージング」を行いました。

この事業には、市内約80人の方々に参加し、北上川の歴史や自然環境について学びました。

脇谷閘門の通過体験では、門が開くと参加者から大きな歓声があがり、歴史の深い北上川分流施設の通過体験に大満足していました。